

籾の色で適期の収穫を！

褐変穂や穂ぞろい不良が多！刈り遅れに注意！

- ・ 本年の登熟の進みは8月下旬時点で平年並と予想されます。
- ・ 早生品種等のほ場は「高温登熟」で収穫時期が早まる傾向にあります。
- ・ 出穂前の高温や8月9～10日の強風による籾の褐変や不稔、また、穂の不ぞろいがあるほ場では、収穫開始時期を慎重に判断してください。

1. 日平均気温の積算から予想される収穫開始時期(8月29日現在)

品 種	平均的な出穂期	収穫めやすまでの積算気温(本年)	収穫めやすに達する予定日 (アメダス地点別)	
			相 川	羽 茂
こしいぶき	7月28日	925℃	9月2日	9月2日
コシヒカリ	8月5日	1,000℃	9月14日	9月15日
	8月8日		9月18日	9月19日
	8月10日		9月21日	9月22日

※8月30日以降は平年値を使用。今後の天候や栽培条件で期日は変動するため、収穫計画の参考とする。

2. 収穫までの管理ポイント

- (1) 上表を参考に収穫計画をたて、穂の黄化籾の割合が 85～90%になれば収穫を始めましょう。計画日前でも適期となったら速やかに収穫しましょう。
- (2) 早生品種は高温条件で胴割粒が発生しやすいので、刈り遅れに注意し、乾燥調製作業も慎重に行なってください。
- (3) 穂ぞろいが悪いほ場では、遅い穂の登熟を待つと刈り遅れになります。登熟が早い～中くらいの穂を優先して収穫を開始してください。

■ 褐変穂・不稔が発生したほ場の対応ポイント！

- ・ 変色籾が多いほ場は籾がらをむいて玄米の状態を確認し、品質低下が見られる場合は他と区分して収穫・管理し、全体の品質低下を防止する。
- ・ 不稔が多いと登熟が早く進むことがあるので、籾の黄化をこまめに観察し、収穫適期を見逃さないようにする。刈取が遅れるほど着色粒が増える。
- ・ 黄化籾の割合は、不稔籾・遅れ穂をのぞいた状態で判断する。